

つ スポーツ推進
委員会通信



ふれ愛

第11号
平成26年
4月発行

発行
津市スポーツ推進委員会
広報部会

第61回 東海四県 スポーツ推進委員 研究大会 岐阜大会

平成25年11月29日(金)
30日(土)

全体会 飛騨・世界生活文化センター
第1分科会 飛騨・世界生活文化センター
第2分科会 丹生川文化ホール
第3分科会 ひだホテルプラザ



『スポーツ推進委員としての
資質の向上と交流を図る』

東海四県スポーツ推進委員の参加を求め、「地域における生涯スポーツ振興の実践活動について研究協議し、スポーツ推進委員としての資質の向上と交流を図る！」また、研究大会の参加者が相互に「意見交換」を行う目的で「第61回東海四県スポーツ推進委員研究大会（岐阜大会）」が開催されました。今大会のテーマは、「地域スポーツ推進におけるスポーツ推進委員の役割」が掲げられ11月29日（全体会）、30日（分科会）の2日間に津市スポーツ推進委員43名が参加し、熱心に研究協議を行いました。

1日目の全体会の表彰式においては、永年の地域におけるスポーツ推進委員



として生涯スポーツの普及・振興の功労が認められ、平成25年度 東海四県 中ブロックスポーツ推進委員功労者表彰で3名の津市スポーツ推進委員受賞がされました。

今後ますますのご活躍を期待いたします。

第61回 東海四県スポーツ推進委員研究大会 岐阜大会 に参加をして

育生地区 大西 則子

初日は開会式・功労者表彰式が行われ、津市からの受賞者には大きな拍手と声援が送られました。後半の講演は「世界空手道選手権大会女子個人形種目」4連覇の若井敦子氏(西濃運輸空手道部監督)でした。残念ながら私は存在を知らずにいましたが、若井氏の4連覇に達する道のりを『スポーツから学ぶもの』と題したさわやかな話に会場は熱心に聞き入りました。この若く美しい女性は4連覇した世界記録により、ギネス登録されていると知ってまた驚きでした。

2日目は同じ会場で行われた第一分科会に参加しました。発表は山形市・大垣市です。

山形市のテーマはウォーキングの普及でした。

「いつでも何処でも誰でも道具を用いず一人でもできる手軽なスポーツとしてのウォーキング」を5カ年計画で推進しています。以下の4点を活動の主軸に置いています。

- ・ 定期的なイベントを開催して、機会を増やす
- ・ 運動効果を判りやすくアピールする。
- ・ 正しい歩き方の為のウォーキング教室を開催
- ・ 市内のウォーキングマップの作成

5カ年計画という設定がわかりやすく、イベントの立案がしやすいこと・特に運動効果という点においては、『推定運動強度の測定』という公式を用いて目に見える数字でアピールした工夫が、参加者にも効果がより実感できるであろうと思いました。市内にモデルコースを設定しマップを作成するなど数々の活動が行われているようです。

大垣市は各ブロックごとに多数の種目の活動が行われています。その中でもやはり各世代で交流できる軽スポーツが多く取り入れられており、「みんなのスポーツ」として商店街主催の「元気ハツラツ市」へ出展し普及に努めています。こちらもウォーキングマップを製作するなど市民に受け入れられやすいスポーツを提供しています。

両市とも重視している点はやはり大会行事ではなく、日常生活の中で継続している事です。社会全体が競技系スポーツのみではなく健康指向に進んできた現状にあわせ、何が必要とされているかというニーズに合った種目を設定・PRすることの大切さが伝わってきました。

発表はゆるキャラや寸劇など工夫されており、最後の質疑応答も活発に行われて充実した内容と感じました。

第3分科会場(女性部会)

女性部会が主催する第3分科会場では各市町村の委員2名づつで班を編成し班単位で現状のスポーツ推進委員の役割について意見交換し、決議した内容の発表を各班が行うディスカッション方式にてはこれからのスポーツ推進委員は社会情勢の変化をつかみ、地域の活性化へのパワーとなるために地域団体との連携とコミュニケーションを深めることが重要であり、急速な少子高齢化社会へ移行にそのニーズとして「競技スポーツ」から健康重視型の「楽しみ型スポーツ」が重要視されているとの意見が多く津市としても市民の今後のニーズを把握し、その対応が必要であると痛感いたしました。



平成25年度 津市民スポ・レク祭 グラウンド・ゴルフ大会の企画と反省

事業・調整部 伊藤 昌行

それは、昨年5月から始まった。松坂会長より特命事項として「津球場公園内野球場にてグラウンド・ゴルフ大会」を開催したい。利用の予約はしてある。参加者は約150名で外野ゾーンの芝生部分のみを使用したいとのことでした。

野球場として神聖な？津球場でのグラウンド・ゴルフ(以下、G・G)の開催が可能なのか一瞬わが耳を疑ったが、開催することには、興味はあった。

昭和57年、鳥取県泊村教育委員会が中心となり考案され、30年経過のG・G、今更言うまでもなく、全国の中高齢者の一番人気のニュースポーツである。

- その理由は 1) ルールが比較的簡単で、誰にでも特に高齢者にも出来る。
2) 広いスペースがいらない(公園の片隅でも可能)
3) 専任の審判員は不要。競技者が兼ねる事。等が挙げられよう。

津市スポーツ推進委員会(以下、スポ推)18名の大会実行委員会を設置し、4回の会合を開き、概略次の方針にて準備を進めた。

- 1) 参加者の申し込みは、各ブロック・地域にてPRし、個人申し込みとする。
- 2) 150名の定員にて、申し込み者が超過時は公開抽選とする。
- 3) 競技は、1コース12ホールの特別コース2面を使用する。
- 4) 個人競技とし、2ラウンドの合計打数により競う。
- 5) スポ推は、競技には参加せず大会運営に協力することになった。

大会結果

- 1) 記録は下記参照
- 2) 出場申込みは約140名となり全員出場可能となった。
(当日は、三重県体育協会主催みえスポーツフェスティバルG・G大会が河芸町民の森にて開催され相当数の津市民からも愛好者が出場した模様)
- 3) スポ推からもG・G経験、未経験者合わせて58名の協力を得て、コース設営用具組立、スコア表の確認等、各担当に分かれ競技をサポートしていただいた。

○出場者から喜ばれた主な項目

- 1) スコアシートには、各組毎の氏名、性別、地区名を印刷したので、参加者は記入の手間が省け、又親睦と交流につながったと好評。
- 2) 各組、選手毎の成績表(個人表)をスコアシートとは別に印刷添付したので、転記の手間が省けたと好評であった。
- 3) 次のホールへの移動時、案内・誘導担当係がいてスムーズに移動できて助かった。
- 4) コースは、芝生の状態も良く、土のコースも良く整備されており良かった。来年もぜひ開催してほしいとの声が多数あり。

○次回開催時の提言

- 1) 開催地区の出場者が多数を占めるのは一考を要す。
- 2) このため参加者申し込みは、各ブロック・地域から応募できるよう考慮する。
- 3) 広報のみではPR不足。スポ推の声掛けがもっと必要となる。
- 4) 出場申込書の記入漏れを防ぐ。(生年月日、経験年数、会場までの交通機関…)



★当日の成績★

優勝	寺嶋 資文	津 養正地区	5 位	草川 正美	安濃 明合地区
準優勝	畑中 信弘	津 修正地区	6 位	伊藤 成孝	津 北立誠地区
3 位	村瀬 守	津 敬和地区	7 位	森 美奈子	津 藤水地区
4 位	内藤 武	津 新町地区	8 位	織田 弘	安濃 明合地区

ブロックだより

津ブロック

◆ 平成25年度 津市ファミリーバドミントン大会◆

平成26年3月2日(日)津市体育館で、津ブロック主催のファミリーバドミントン大会が開催されました。朝から小雨混じりの天候でしたが、41チームの選手の熱気が体育館のフロアのあたりから伝わってきます。

昨年は初めての大会で32チームのエントリーでしたが、今年は9チームも増え、各地域のスポーツ推進委員のファミリーバドミントンを広めようとする努力と、スポーツの楽しさを伝えようとする熱意が感じられる素晴らしい大会でした。勿論、大会運営には津ブロックのスポーツ推進委員が関わり、審判研修会の成果も十二分に発揮されていたようです。

親子のチームがあったり、近所のお母さん達のチームがあったり、日本で働くモンゴル人のチームがあったり、これこそが私達スポーツ推進委員の目指す、スポーツの裾野を広げ、一人でも多くの人にスポーツを楽しむ場を提供する事なのだと感じました。

今大会を見ても、昨年より競技レベルも上がり、白熱した試合が数多くあり、ますますファミリーバドミントンのファンが増えそうで、来年の大会が楽しみです。

★今大会の成績★

優勝	櫛形地区	WIN. K MASA
準優勝	鈴鹿市	井田川
3位	櫛形地区	チームR. U
敢闘賞	片田地区	K. F 2



安芸ブロック

◆ 美里地区 城跡散策ウォークラリー ◆

安芸ブロックの行事として、本年度は美里地区がホストとなり「城跡散策」をテーマに11月17日に辰水地区で約6.5kmコースとして楽しんでいただきました。美里地区体育振興会と協賛し、インターネット等でも参加を呼びかけました。当日は子供会の行事、マラソン大会等の行事と重なり参加チームが2チームと少なく、急きよ当日世話係を予定していた推進委員の方にも参加をしていただき8チームの構成での開催となりました。9時15分に1組目が辰水小学校をスタートし、辰水神社～六地藏石幢～長谷寺～家所城跡～明顕寺の名所を回り、途中クイズに答えスタート地点に戻って設定時間を競い合いました。

午前中は、小春日和でウォークラリーには最適な日になり、皆さん上着を脱ぎ汗ばむ気持ちのいい日となりました。コース終盤の明顕寺は、ケーブルテレビで放送された庭園があり、住職さんのご厚意で中庭と外庭の案内をしていただきました。参加人数が少し寂しかったのですが、参加していただいた皆さんの反応は、「最初の神社に登る階段で音をあげたが、階段が最初でよかった。」とか「栗も拾って楽しかった!」とか好評をいただきました。残念なのは参加人数の少なさ、子ども連れ(家族)の参加不足等、企画段階で各種団体等の行事を把握した計画が必要であることを痛感させられました。

来年は河芸地区が開催予定です。皆さん多くの方々の参加をお願いいたします。

久居ブロック

◆ 第16回久居榊原温泉マラソン ◆

戸木地区 村田 一 男



平成25年11月17日(日)に榊原温泉街周辺にて、ハーフマラソン10km・5km・3km・1.5km・ファミリーウォーキングの種目に市内外から1,728人の参加者があり盛大に開催されました。

私たち久居ブロックのスポーツ推進委員は、安全に開催されるように交通規制看板の設置や当日のコース清掃等の準備

を行いました。また、各ランナーの誘導と応援など大会に欠かせない存在として活躍しました。

来年度の第17回大会が、今大会以上に盛大に開催されるように、スポーツ推進委員一同運営に協力していきます。



一志ブロック

◆ 塚原ヒストリーコースで歩こう会 ◆

八ツ山地区 山岸 敏 則

10月27日(日)に一志ブロック主催の歩こう会を開催しました。美杉町下之川の「塚原ヒストリーコース」で行いました。コースは、4.4kmです。絶好のコンディションに恵まれ、沢山の方に参加していただきました。

学芸員の西口様より今日の歩こう会のコースの説明を受けました。美杉でもここは雲幅が広く縄文時代から人が暮らし、集落があったといひます。コース途中の浄土宗の真福寺周辺では、水害が多くそれを治めるために本堂以外に建物を建てお祈りをしました。

三谷城跡は山の上を平らにした山城で、数十名程度の戦いだったそうです。この地域には有名な仲山神社もあり、毎年2月11日には「ごんぼ(ごほう)祭り」もあり、賑わいます。本祀は金山彦命で千年以上前に創建された古社です。五百年ほど前から男女のシンボルを合体させたり、ボラを手で触らずさばくまな板行事、矢を射る弓神事などが行われ、神事後、ごほうとボラのみそ和えが振る舞われます。皆さんも一度お参りしてみたいはいかがでしょうか。



知る人ぞ知る、塚原ト伝(つかはらほくでん)屋敷跡には井戸もあり、ここから毎日多気まで修行に行っていたそうです。また、石御堂巖は千万年前は海で、堆積物が固まり隆起した大変大きな一枚岩で、見逃しそうですが石仏もあります。

ヒストリーパーク塚原は、オートキャンプ場でまだまだ沢山の方がキャンプをして、マス釣りなどで楽しそうに過ごしていました。車の移動では見逃してしまう事も、歩く事で色々な景色が見えてきます。皆さんも是非次回は参加して下さい。

ファミリー体力測定！

日時・場所

- ① 平成25年11月 4日（祝）
9：00～12：00
於：津市体育館
- ② 平成25年11月10日（日）
9：00～12：00
於：芸濃総合文化センター内ホール



家族で体力測定会に参加し、それぞれの体力などの状態を確認し合い、日常生活の中で家族そろってスポーツに親しむ習慣を身につけることにより、体力の向上や心身の健康の維持に反映させる、目的で「ファミリー体力測定会」が実施された。

この事業は津市スポーツ推進委員会の事業としては初めて取り組む事業の為に測定会に関連した知識、教養などを身につけたアドバイザーの資格が必要であり、取得したアドバイザーが中心となって実施せねばならないためにスポーツ推進委員23名がアドバイザーの研修に参加し取得しました。このアドバイザー23名が中心となって実行委員会を設置し、実施計画に基づきスタートした。当初、参加人員に不安を感じたがPRの効果もあって小学生から高齢者の方まで120名の参加が得られました。

測定会のはじめは、参加者個々の健康状態のチェック、ADL（日常生活活動テスト）を看護師さんの立ち会いのもと実施し万全の状態ですべての測定会がスタートしました。内容は年齢の層別（6歳～64歳、65歳～79歳）単位で測定種目が全国统一で下記のように定められております。

★（6歳～64歳）…6種目

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、立ち幅跳び

★（65歳～79歳）…6種目

握力、上体起こし、長座体前屈、開眼片足立ち、10m障害物歩行、6分間歩行

参加者は、グループ単位（8～10名）に分かれ予め定められた種目の順番に従い、アドバイザーの指導にて測定を実施した。参加者自身の体力の数値はその都度、参加者が記録表に記録して自分の体力が把握できるため種目ごとに一喜一憂（？）したり、大きな歓声なり終始和やかな雰囲気が進み全種目が完了すれば、掲示されている年齢単位の全国平均値と比べて、又、一喜一憂（？）する姿も見受けられ終始和やかな雰囲気のもと測定会は終了した。尚、参加された皆さんには後日、提出された記録の集計とその評価結果が送付されます。



☆感想☆

初めての測定会でしたので緊張し、スムーズに運営できるかな？混乱するのでは？と不安視していましたが参加者の皆さん及びアドバイザーの皆さんのご協力によりスムーズな運営ができたことは大きな喜びです。

アドバイザー（スポーツ推進委員）のみなさま、お疲れさまでした。

第54回 全国スポーツ推進委員研究協議会(和歌山大会)

とき：2013年11月21日(木)22日(金) ところ：和歌山県ビッグホエール他

第54回 全国スポーツ推進委員研究協議会が、近隣の和歌山県で開催され、津市スポーツ推進委員会として、委員の資質向上の場として参加者を募り17名の委員が参加しました。

1日目の表彰式においては、津市のスポーツ推進委員として30年勤続スポーツ推進委員5名の方に全国スポーツ推進委員連合より感謝状が贈呈されました。表彰式後の講演は、



演題：「一瞬に生きる」

小久保 裕紀 氏 (NHK解説者)

お馴染みの元プロ野球のスター選手で3つのプロ野球球団で活躍され、現役中は数多くのタイトルホルダー及びその活躍に際し、表彰の受賞者となり2012年をもって惜しまれながら引退されました。

氏のプロの世界のなかでの厳しい体験を踏まえ「サムライジャパン」の監督を引き受け、監督としての考え方、また監督の立場から選手個々の考え方、力量、性格等を把握し生かしていくかを熱っぽく語られました。その語録の一部を次に紹介します。

(1) 監督としての考え方

- ① 試合中は集中力は絶対に欠かせない … 考え放しである
- ② ゲームを見て先手、先手と先を読んで手を打っていくことが必要 … 先手必勝
- ③ チームの選手の長所・短所を知っていることが重要
- ④ 選手と監督のコミュニケーションの取り方が重要である

(2) プロ選手として

- ① 練習に手を抜くな … 手を抜くと長く選手生活ができない
- ② プロとして不調時に逃げることは許されない
- ③ 一流になれば小言を言う嫌なことを避けるな
- ④ 人生は出会いによってその人の人生は変わる

(3) プロの生活を長く続けるには

- ① 人の意見を「素直」に聞き自分の考えを入れて先ずはやって見ること … 延びる
- ② すぐに喜怒哀楽を顔に出す選手は延びない
- ③ 考え方を切り替えることができること
- ④ 野球(本業)以外に興味を持つこと
- ⑤ 一流選手は私生活でも徹底している … 意志が固い



等数多くの事例を挙げて自身の体験から得たプロ選手としての意識の持ち方などを語られ、長い人生において山あり、谷ありでいかにそれを乗り越えていくかが全ての人の大きな課題であるように感じました。

☆受賞おめでとうございます☆

第54回 全国スポーツ推進委員研究協議会、第61回 東海四県スポーツ推進委員研究大会の席上にて、津市スポーツ推進委員として活躍されている下記の方々が、永年のスポーツ推進委員として、住民のスポーツの実技指導・助言などにより生涯スポーツの普及・振興に貢献されている功績を認められ受賞されました。
おめでとうございます！今後のますますのご活躍をお祈りいたします。

【 全国スポーツ推進委員連合感謝状贈呈 】

☆ 30年勤続スポーツ推進委員感謝状 ☆

松阪 英吉 さん (津ブロック)
伊藤 昌行 さん (津ブロック)
宮田 克二 さん (久居ブロック)
大橋 幸一 さん (安芸ブロック)
所 秋良 さん (一志ブロック)



【 東海四県 スポーツ推進委員功労者表彰 】

☆ 平成25年度 東海四県スポーツ推進委員功労者表彰 ☆

市野 正巳 さん (安芸ブロック)
徳永 雅一 さん (安芸ブロック)

【 中ブロック スポーツ推進委員功労者表彰 】

☆ 平成25年度 中ブロック スポーツ推進委員功労者表彰 ☆

津山 峰子 さん (久居ブロック)

【 三重県表彰 】

☆ 平成25年度 スポーツ推進委員功労者表彰 ☆

大西 則子 さん (津ブロック)
菅尾 寿一 さん (一志ブロック)



☆☆☆編集後記☆☆☆

春爛漫を迎え、新しい年度が始まりました。同時に津市スポーツ推進委員会も新たな体制がスタートしました。

私たちスポーツ推進委員の役割と責任は、スポーツ基本法の中で「スポーツの推進に係る体制の整備を図るため社会的信望がありスポーツに関する深い関心と理解を有し、必要な熱意と能力を持つ者の中からスポーツ推進委員を委嘱するものとする。」また、推進委員の役割としては、「スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導、その他スポーツに関する指導及び助言を行うものとする。」と条文用語の重たい文言で括られています。これを私なりに単純に解釈するとまず、スポーツ(やるのが・見るのが)好き。そして、人との出会いを求め、新たなネットワークができていくのが楽しみ。と言う2つが基本となるように思います。そして、地域スポーツの推進役、コーディネーターとして活動をすることで、私たち推進委員も含めスポーツに関わる人々、地域の「みんなが笑顔になれる」ことが、今の時代、特に大切なことだと感じます。本誌巻頭での「推進委員の資質の向上」これは、みなさんが推進委員である前に一人の「人」であることを考え、モラル、マナーは当然のこと、指導、助言をする場合、また組織活動の中でも、相手の立場は自分の立場になることも考えつつ、思いやり、やさしさを持ち合わせたいものです。「美しいものを美しいと思えるあなたの心が美しい(相田みつを)」 (by Nabeyan)

●津市スポーツ推進委員会 事務局●

TEL:059-229-3254

〒514-0056 津市北河路町19-1 メッセウイング・みえ 2階

FAX:059-229-3247

★津市スポーツ推進委員会ホームページ★

<http://tsu-sposui.com/>



公益社団法人全国スポーツ推進委員連合

<http://www.zentaishi.com/>